

## 事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和6年 2月27日

公表: 令和 6 年 3 月 20 日

事業所名 ジーニアスクIDS植田校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	0	・パーティションを使用して対応している。	
	2	職員の配置数は適切である	5	5	・支援レベルに合わせて過配気味に配置している ・利用者全員を見守るために、数人ずつグループを作って職員で分担している	安全性確保の為、人員不足の場合は他事業所に支援を依頼している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9	1	・導線は定期的に見直している ・絵カード活用している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9	1		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	2	・タレで実施 ・物を整理整頓して、子供たちが広々と遊べるようにしている	・目標設定を全員で行っていく ・振り返り時に出た課題を共有し実践している。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0		評価結果を踏まえて、改善点を話し合い現場に活かしている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	0		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	6	第三者評価は行っていない。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	1	・市の外部研修に参加 ・海外研修	・研修報告書内容を支援に活用していく。 ・パートにも積極的に参加できるよう声掛けしていく。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	1		
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	1		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	・パートにも割り振ったり相談しながら決めている	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	0	・スクール担当を変えて様々なメニューが提供できるよう工夫している ・季節に合わせて楽しめる物を用意している(他事業所と合同したり)	より良い支援に向けて、チーム全体で提案・提供を継続していく
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	9	0			

17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	出勤時間が異なることもある為、LINE等で支援内容や注意点等を共有把握に努めている	
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	1	・タレを行い情報共有している (記録もつけている)	
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	・個別ファイルに支援の様子を記入し、共有できるようにしている	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	1	・児発管や担当児童指導員が参加している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	2	緊急性がある場合や保護者様から申し出があった場合、担当者会議を開き都度変更している。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	3	・過去にしていた	・現在医療的ケアが必要な子供や重症心身障がいのある子ども等を支援していない
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	3		・医療的ケアが必要な子供や重症心身障がいのある子ども等を支援していない
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	3	・送迎時や担当者会議にて行っている。	・今後も園との連携を密にとっていく
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	2	・保護者を通じてサポートブックを使って共有している ・希望があるご家庭には「就学時引継ぎアセスシート」を渡している	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	2	・担当者会議等で共有しあい、支援の方向性合わせておこなっている	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	7	・2023年は夏祭り一般公開をして交流の機会を設けた。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	2	・月一参加している	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	0	・送迎時実施している	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	2	0	・親子参加型イベント時、保護者同士の交流会を兼ねて支援を話し合う場を設けている	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	・契約時に行っているが、お問い合わせがあればその都度丁寧に説明している	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	0		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	1	・親子参加型イベントを実施しその中で交流会を設けている ・保護者参加のイベントを2か月に1度くらい開催	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0	・毎日写真送信 & 2か月に一度の広報誌	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9	0		

39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	0	・絵カードや写真で視覚化したり、言葉を代弁したりして、意思疎通を図っている。	
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	5	・夏祭りを開放し地域開放日を作った。	

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9	1	・BCP ・天災や感染症の対応については契約時や必要時にご説明している	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	0	・月一回防災の日を設けている	スタッフの訓練も定期的に行う
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	10	0	・契約時に全員に確認している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	0	診断書の提出依頼はしていないが、飲食に関して保護者より方法を提示頂き対応している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	1		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	1	・社内で月に一度開催され、参加している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	0	・備考欄に記入、送迎時に報告している	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。